

この『予習シリーズ演習問題集 社会』は、『予習シリーズ』に準拠した問題集で、予習シリーズで学習した後、学習内容をさらに定着させるようにつくられています。

●単元回の構成(1～4, 6～9, 11～14, 16～19回)

単元ごとの学習範囲です。

① **まとめてみよう!** (☞は、『予習シリーズ4年上』のページを示しています。)『予習シリーズ』で学習した大切な用語が、空らんになっています。内容は、ほぼ、『予習シリーズ』の本文にそった形となっています。前後の文を読みながら、空らんをうめていきましょう。わからないところが出てきたら、必ず『予習シリーズ』で確認しておきましょう。また、写真・図や白地図に書きこむことによって、学習したことがらが、自然に身につきます。色鉛筆などを使って、指示されたとおりに作業をしてください。

② 練習問題

基本的な知識や考え方を確認する問題を中心に、実践的な形式で出題しています。テスト対策として、力試しのつもりで取り組みましょう。

③ 発展問題

実際に入試で出題された問題を、解けるように改題して掲載しています。単元内容の理解がある程度進んだら、ぜひ挑戦してみてください。

④ 記述問題にチャレンジ!

実際に入試で出題された記述問題を中心に掲載しています。写真や資料を読みとって考えたことを、自分のことばで表現する問題などもあります。

●総合回の構成(5, 10, 15, 20回)

前4回分の学習内容が総合回の範囲です。

① 練習問題

前4回で学んだ内容を、総合的に復習できるような形式で出題しています。

② 応用問題

前4回で学んだ内容をもとに、応用力を試す内容の出題となっています。

③ チャレンジ問題

前4回の範囲で、入試で出題された問題を、解けるように改題しています。

●解答と解説

問題を解いてみたら、できなかった問題を中心に、見直しをしましょう。別冊の「解答と解説」には、学習のヒントはもちろんのこと、理解を深めるためのことがらも紹介しています。必ず目を通して、視野を広げましょう。

目次

第 1 回	健康で住みよいくらし	4
第 2 回	ものを売る仕事	10
第 3 回	昔のくらしと今のくらし	16
第 4 回	都道府県と地方(1)	22
第 5 回	総合	28
第 6 回	都道府県と地方(2)	34
第 7 回	地図の見方(1)	40
第 8 回	地図の見方(2)	46
第 9 回	一年中あたたかい地方のくらし	52
第 10 回	総合	58
第 11 回	寒さのきびしい地方のくらし	64
第 12 回	雪の多い地方のくらし	70
第 13 回	冬に晴れる日の多い地方のくらし	76
第 14 回	雨の少ない地方のくらし	82
第 15 回	総合	88
第 16 回	盆地のくらし	94
第 17 回	低い土地のくらし	100
第 18 回	高い土地のくらし	106
第 19 回	海とともにあるくらし	112
第 20 回	総合	118

まとめてみよう！

解答は別冊 2ページ

1 水道水の
ふるさとは？

👉 8ページ

・ 森林は のダムといわれる → 降った雨や雪をたくわえ、水をきれいにするはたらきがある

① 森林の色

・ 人々の生活に役立つように保護されている森林のことを、

という

② 水源林などがふくまれる

(1) 森林からダムへ、川から浄水場へ

・ 水源林から流れ出た水は、 にたくわえられる

③ 水をたくわえるところ

・ で水道水になる

④ ろ過や消毒などを行うところ

(2) 水を大切に使おう！

・ ・ 風呂 ・ 炊事 ・ など

⑤ 昔は水洗ではなかった

⑥ 衣類を洗う

・ を心がけることが大切

⑦ 水をむだにしないこと

2 使った水は
どこへ？

👉 9ページ

・ よごれた水は できれいにされて、海

⑧ よごれをとりのぞき、消毒などをする

や川へ流される

・ 処理された水の一部は、ほかの施設でさらにきれいにされて、

となる

⑨ トイレや噴水などに使われる

3 ごみのゆくえ (1) 捨てればごみ, 分ければ資源

👉 10ページ

- ・家庭から出すごみは, する
⑩ しゅるい 種類ごとに分ける
- ・かんやびんなど, 使えるものは する
⑪ 形をかえて使う
- ・スチールかん → の原料に
⑫ レールなどになる
- ・ → 衣類やカーペットに
⑬ どうめい ようき 透明の容器

(2) 清掃工場

- ・ごみを燃やして量を
⑭
- ・ごみを燃やすときの熱を温水プールや暖房や に
⑮ 電気をつくる
- ・金属などの できるものを取り出す
⑯ 形をかえて使う

4 ごみを減らすには?

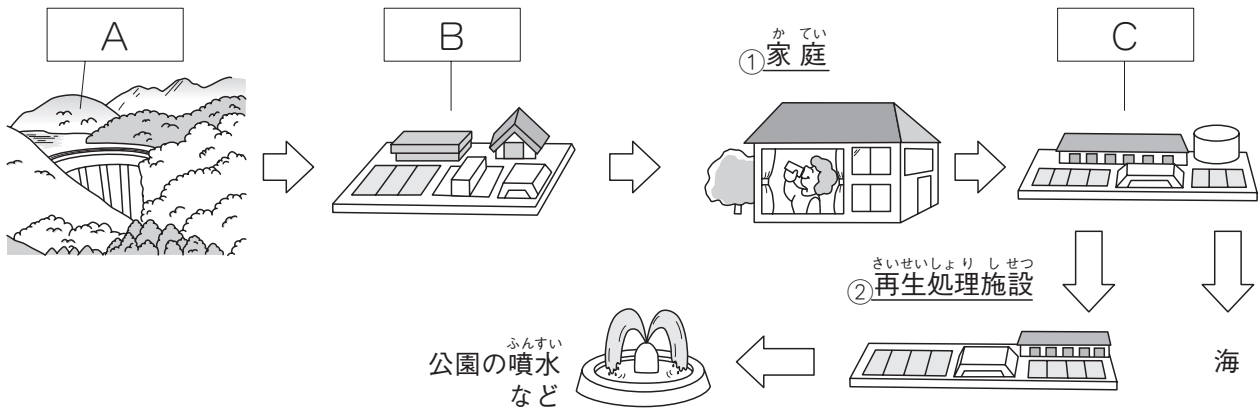
👉 11ページ

- ① ごみの量を少なくする ()
⑯
- ・ごみになるものを家に持ちこまない
- ・むだな買い物をしない
- ・包装をことわる
- ② くり返し使う ()
⑰
- ③ 別のものにつくりかえる (リサイクル)
- ・①～③をまとめて という
⑱ 英語で書くと先頭の文字が同じ

練習問題

解答と解説は別冊 3ページ

- 1 次の図は、わたしたちが、生活で使う水をどこから得て、どのように処理しているかを示しています。よく見て、後の問いに答えなさい。



- 問1 A ~ C にあてはまることばを、次の文を参考にして、それぞれ下から選んで、記号で答えなさい。

A ……水道水のもととなる水をたくわえるはたらきがあります。

B ……川などからくみとった水をろ過したり、消毒したりして、わたしたちが飲む水道水をつくっています。

C ……生活排水などをきれいにして、海や川に放流しています。

ア 下水処理場 イ 井戸 ウ 水源林 エ 浄水場

- 問2 下線①について、次の問いに答えなさい。

1 わたしたちが、家庭でとくにたくさんの水を使うことがらにあてはまらないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア ふろ イ トイレ ウ 炊事 エ 歯みがき

2 わたしたちが、生活の中で節水できることにあてはまらないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア バケツに水をためて洗車する イ ふろの残り湯を洗濯に使う
ウ ごみの分別をする エ 節水型のトイレを使う

- 問3 下線②では、 C でよごれを取りのぞいた水を、もう一度使える水にしています。この水は、公園の噴水や電車の洗浄などに使われます。この水は何とよばれていますか。

2 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

わたしたちが出すごみはどこへ運ばれ、どのように処理されているのでしょうか。①かんやびんなどは、資源ごみとして回収され、工場で生まれ変わります。燃やすごみは、で燃やされて灰となり、燃やさないごみなどとともに入などに運ばれています。しかし、などの処分場が少なくなっていることが問題になっています。②家庭だけでなく、世の中全体でごみの量を減らし、資源を有効に活用していくことが、求められているのです。

問1 ・にあてはまることばをそれぞれ次から選んで、記号で答えなさい。

ア うめたて地 イ ごみ収集車 ウ 清掃工場 エ 再生工場

問2 下線①について、次の問いに答えなさい。

- 1 ごみとして出されたものを、別の品物につくりかえて利用することを何といいますか。カタカナで答えなさい。
- 2 再利用されてつくられたものにつけられるマークと、再利用されたものの組み合わせとして正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア



紙

イ



ペットボトル

ウ



スチールかん

問3 下線②について、次の問いに答えなさい。

- 1 洗ったり修理したりして、使えるものをくり返し使うことを何といいますか。カタカナで答えなさい。
- 2 ごみを減らすために、わたしたちができることとして正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 買い物をするときに、店のレジ袋を買わないようにします。

イ いらなくなった服を、燃やせるごみとして捨てます。

ウ びんは再利用できないので、アルミかんに入った飲み物を買います。

次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

(かえつ有明, サレジオ学院, 成城・一部改題)

日本では、①回収されたプラスチックごみは、②発電にも使われていますが、③回収されていないプラスチックごみは何が問題なんでしょうか。まず、プラスチックが自然に分解されるためには、とても長い時間が必要です。たとえば、アルミ缶が80年から200年の間に分解されるのに対して、ペットボトルは太陽光などで少しずつ分解されるのに450年もかかるといわれています。

地球上から④数百年消えないプラスチックごみを増やし続けないように、正しいごみ処理をはじめとして、さまざまな工夫が必要となるでしょう。

問1 下線①について、ごみ出しについては、おもに曜日によって決められています。右の表は、ある地域のごみ収集曜日です。この地域のごみの出し方について述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

月	缶・びん・ペットボトル
火	燃やすごみ
水	なし
木	なし
金	プラスチック製容器包装
土	燃やすごみ

ア ポテトチップスを食べ終わった後の袋を、月曜日の朝に出しました。

イ 使い終わった後のメモ帳を、木曜日の夜に出しました。

ウ 台所の三角コーナーにある生ごみを、火曜日の朝に出しました。

エ 飲み終わった後のジュースのキャップとラベルをはがしたペットボトルの本体部を、土曜日の朝に出しました。

問2 下線②について、清掃工場のすぐ近くに、発電の設備・温水プール・植物園などがつくられることがあります。この理由を30字以内で説明しなさい。

問3 下線③について、ごみの問題をそのままにしないために、わたしたちは3Rに取り組むことが重要です。3Rのうち、必要以上の包み紙を断るなど、ごみが出る量をできるだけ減らすことを何と申しますか。カタカナで答えなさい。

問4 下線④について、現在は多くの製品で、プラスチックが利用されています。次の表を参考にしながら、プラスチック製品の特徴を説明した文として正しくないものを下から選んで、記号で答えなさい。

おもにプラスチックへと変わった製品

製品名	もとの製品など	プラスチック利用製品
めがねレンズ	ガラスレンズ	プラスチックレンズ
子ども用おもちゃ	つみ木	プラモデル
買い物袋	ふろしき, 紙袋	レジ袋
文房具	ふで, 万年筆, えんぴつ	シャープペンシル, ボールペン

- ア めがねに使われるプラスチックレンズは、ガラスよりも軽くて割れにくくなりました。
- イ プラスチックの子ども用おもちゃは、木材よりも複雑な形にすることができます。
- ウ スーパーマーケットやコンビニエンスストアで使われるレジ袋は、1枚あたりのねだんが安いので、現在、無料で配られています。
- エ 文房具のなかには、プラスチック製品になったことで、軽くて持ち運びやすくなったものもあります。

記述問題にチャレンジ！

解答と解説は別冊3ページ

プラスチックごみを減らす取り組みとして、みなさんができることには、どのようなことがありますか。具体例を1つあげて、説明しなさい。